

新潟県

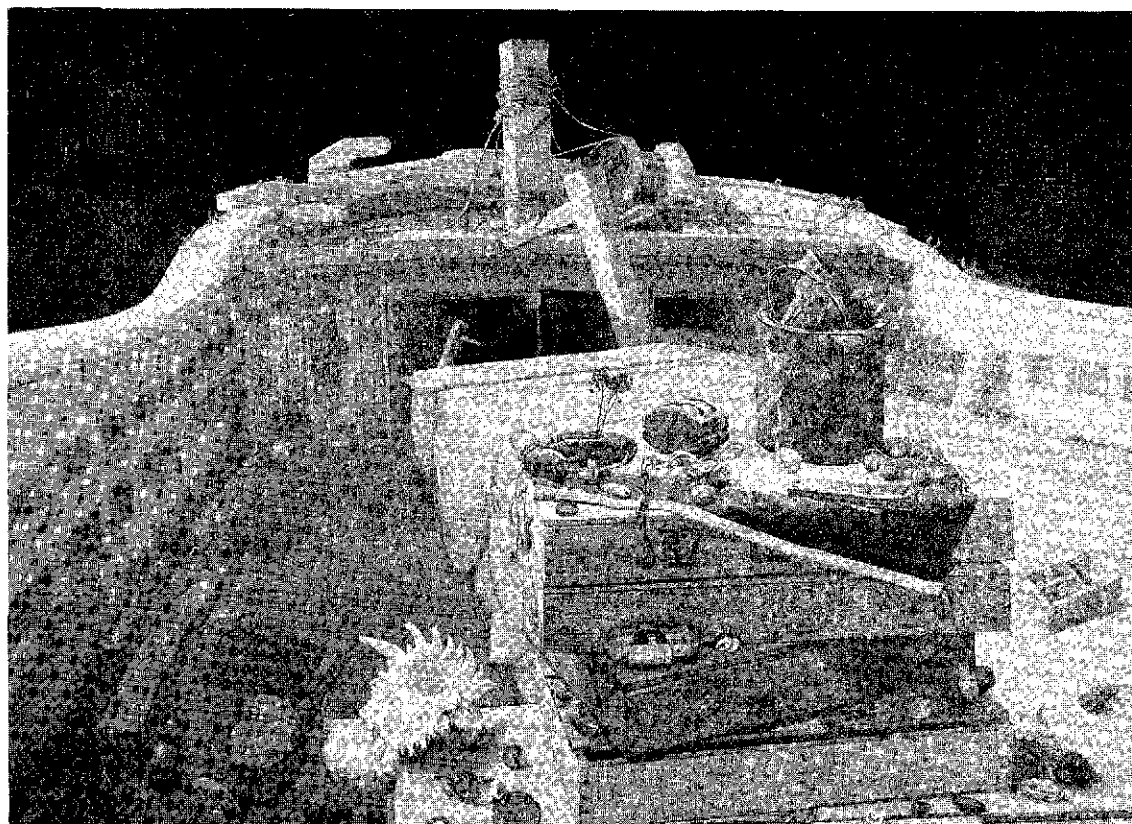
63年

公民館月報

7月
第425号

特集 少年研修事業のすすめ

——計画立案のつぼどころ——



三芳悌吉「廃船の中で」1976年
9.70×131cm 洋画
新潟県美術博物館所蔵

三芳悌吉(1910~)は東京生まれ。幼少年期を新潟で育った。現在美術協会会員。日常的な光景を緻密に写実的に表現し、美しく澄明で、ファンタジイに満ちた作風で知られる。信濃川河口の廃船の用板がさながら舞台装置に生まれ変わったようである。

第1回編集委員会開催

より親しまれる「月報」に

新委員による初会合終る

去る六月十七日、新潟市中央公民館会議室を会場に、本年度第一回編集委員会が開催された。

今年委員の改選期に当たったため、新委員六氏が委嘱されたが、このうち一人が留任で他の五氏が新しい顔ぶれのせいか、委員会は清新の気風の中で、親しまれる「公民館月報」の紙面づくりについて熱意にあふれた意見や提言が出された。

一、編集の方針

従前のおり、研修や啓発の性格を持った情報の提供を基本方針とし、親しまれる紙面づくりに力を入れる。このため、

①公民館現場の実践記録や県内各地の資料紹介などを取り上げより一層充実させる。

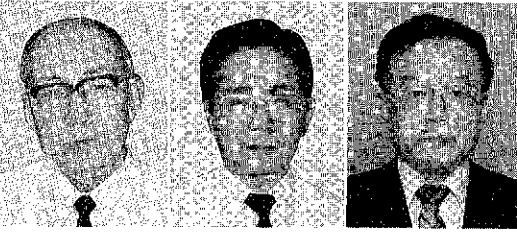
②公民館利用者など一般市民層へも読者を広げるため、市民の声を紙面に登場させる。

二、編集の内容

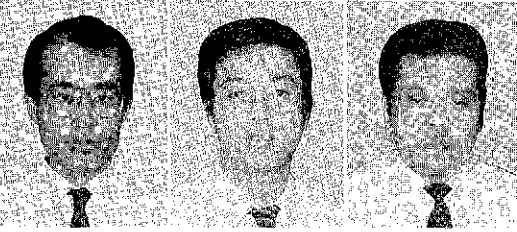
経費の関係から八ページだては従前どおり。したがって各ページの取り扱いも大きな変化はないが、次の二点を工夫する。

①コラム「辛口」への登場者を一般市民や学識経験者としてワザビの利いた意見を投稿してもらう。

②八面の「県事業紹介」の欄を「ネットワーク」と発展的に改名する。これは、県(社会教育課)と



寺泊町公民館長 山崎 龍教
上越市立公民館係長 山川 剛
県社教主事 渋谷 致



新潟市東地区 公民館社教主事 小川 昇
村上市中央 公民館社教主事 田嶋 雄洋
十日町市公民館 社教主事 小林 宏行

調査への協力依頼

編集委員会では、近く全市町村の公民館を対象に希望調査を実施する予定である。

これは、県下公民館の活動紹介について、取材のかたよりをなくすることを目的として、実践記録・探訪記事・素顔拝見等々の取材(記事提供も含めて)に応じてもらえるかどうかを聞くものである。

自己PRの機会として、積極的に活用する意味もこめて、調査への協力をお願いします。

県公連とを結ぶパイプをより太いものにしたという願のもとに、従前の事業紹介のみに止まらず相互の意思の疎通を図るべしにすることをねらっている。

具体的には、県の考え方や情報紹介。また、公民館の現場で苦慮している管理運営上の諸問題の解明の場ともする。

また、「ネットワーク」の名のとおり県下公民館(利用者を含めて)の、おたずね情報、仲間づくり情報など、自由に読者からも利用してもらう。

全公連總會報告

副会長石井耕一氏留任

六月九日、東京青山会館を会場に全公連總會が、続いて、六月十六日には、東京虎の門の農林年金会館を会場に、全国都道府県事務局長会議が開催された。

会議の要点は①昭和六十二年度の事業報告と決算報告、続いて本年度の事業計画と予算案の承認。続いて②役員改選では、石井耕一氏(本会元会長)が副会長留任、③第十一回全国公研集会の成功させたいことと、調査活動の継続実施等であった。

なお、「月刊公民館」が来年四月号から五〇円値上げになると報告されていた。



関プロ公連理事会

来年度全国公研集会

埼玉県(大宮市)に決まる

決まる

六月二日・三日、浜松市ホテルエンパイアで、関プロ公連の理事会が開催され、木下会長・上村事務局長が参加した。

主要議題は①昨年度事業報告と収支決算。②役員改選では、会長に小高勝次埼玉県公連名誉会長が留任。③来年の全国公研集会第12回大会は埼玉県公連が主管を引き受けた。会場は大宮市に設定し、公民館の今日的あり方の転機になるような大会にすべく、特設委員会を設置して取組みたいと、決意のほどを表明していた。

県公民館大会準備始まる

来る十月二十日(木)開催予定の第三十九回県公民館大会の準備が、主管の糸魚川市西頸城郡公連によって着々と進められている。

上・中・下越地区公連へ実践
発表者等の選出について依頼し
ていたところ、このほど、四氏
が選出された。

実践発表には

○新井市勤労者研修センター
係長 渡辺 優氏

○長岡市中央公民館
技師 内山和 夫氏

○北蒲原郡安田町公民館
社教主事 吉野晴 記氏

大会実行委員会始動

糸魚川市西頸城郡公連では、
去る五月十二日、地区公連幹事に
よる準備会を持ち、続いて五月二
十日、大会実行委員会を結成し、
本格的な準備活動が開始した。

例年の七月の大会が十月へと
大巾にずれたことから、時間的

辛口

仲間がい
た。あまり
得意でもな
いスポーツ
で汗を流し、
終わったあと
は必ず酒を
くみかわし、
夜の更けるのも忘れて
語りあう。人に誘われ
るままに新しいサーク
ルや組織に引っぱられ

求める者を掘り起こせ!

阿部 和之

じょうなことをやって
いる人達がいて、みん
なで何かやってみよう
という事になった。
どうしたらいいんだろ
うと思っていたところ
に、公民館から声がか



にゆとりのある日程で準備が進められている。

幹事による準備会

当市は、中世末期、上杉氏の
出城として清崎城が構築され、
近世中期から松平侯一萬石の城
下町となる。北陸道の宿駅の一
つであり、松本街道への分岐点
にあたる宿場町として栄えてい
た。(会場市民会館の敷地は居城
址である。)現在、人口三万五千
百八十人、昭和二十九年一町九
村の合併によって生まれた。面
積四百六十七平方キロメート
ル、商業、農業の市である。今
後自然環境を生かした観光都市
としてクローズアップすること
になる。

JR北陸線と大糸線の接する
所、南には中部山岳国立公園の
名峰白馬岳、蓮華山の山並みと
上信越高原国立公園、妙高火山
群に属す雨飾山、活火山焼山、
火打山と連なり、登山縦走ライ
ンとなっている。眼を西に廻せ
ば、全山石灰石で、地質学的に
も、工業資源としても、伝説的
にも有名な黒姫山が立ってい
る。

糸魚川市の西端を起点として
本州中部を横断する大地帯帯が
姫川谷に沿って松本、諏訪、甲
府の各盆地を経て静岡県大井川
附近に達するフォッサマグナが

会場地糸魚川市の紹介

糸魚川市中央公民館 寺崎 直春

ある。姫川西岸を境に全く異質
の地層が重なり、姫川の支流小
滝川に日本唯一のヒスイの原産
地がある。

さらに、伝説、史跡、文化の
地としても現在脚光を浴びて来
ている。奴奈川姫と大国主命の
ロマンス伝説、縄文中期の遺跡
でヒスイの加工地としての長
者ヶ原が有名である。

早稲田大学校歌「都の西北」
の作詩、ライフワークとしての
良寛研究、詩、短歌で有名な相
馬御風の生誕の地である、市役
所近くに御風宅があり、遺品が
本大会々場敷地内の歴史民族資
料館に収められている。

姫川の流れに沿って、義塩で
有名な塩の道が遠く信州に伸
び、越後信濃の経済文化の行き
交った街道があり、毎年塩の道
イベントが催されている。

以上、観光を中心とした紹介
になりましたが、七月二十日(例
開通の式典が挙行される運びと
なりました。皆様の来糸には幾
分都合がよくなるかと思いま
す。充分なもてなしは出来ませ
んが皆様のお出でを心からお待ち
しています。

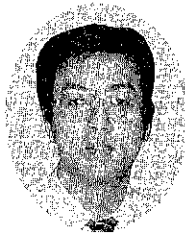
執筆者紹介

村上市中央公民館社会教育主事

田嶋雄洋氏

昭和五十四年、大学卒業と同時に村上市の社会教育課兼中央公民館に席を置く生えぬぎの社会教育主事。

この間(九年)青少年教育とありわけ少年教育を重点的に担当してきた数少ないその道の専門家。なお、日本レクリエーション協会公認の上級指導者の資格を持つエキスパートでもあられる。



田嶋氏

事業のすすめ

のつぼどころ

はじめに

今日の少年たちの実態は「遊びを知らない、自然にふれない、体験が乏しい」と指摘されています。都市も農村も、程度の差こそあれ押しなべて同じ傾向にあると言われてもいます。

したがって、この公民館でも少年対象の事業は多く、とりわけ、「遊び・体験」を重視した集団・宿泊の訓練やリーダー研修などの事業が多くなると思われます。そこで、当村上市で実施している「少年宿泊研修」を事例に、少年対象事業を進めるためのつぼどころを、いわば実践記録ふう、子どもたちと公民館職員とのつきあい方といった軽い意味で、極めて初歩的な部分をのべることにします。

一、企画の段階で

大切なこと

1、ねらいを明確に

公民館事業に限らず、どんな事業でも、ねらいの明確でない企画では優れた計画は立てられません。特に公民館の、しかも少年対象の事業の場合このことが大切です。というのは、指導者が多数で、多様な分野の人たちの協力が要になるからです。複数の学校の教師やボランティア、社会教育関係者などの

協力によることになりすから、指導者の全員が、同じ姿勢で同じ方向に向かった指導が大切になります。

当公民館の場合は、「宿泊研修を行い、ジュニアリーダーとしての資質の向上を図る」ことでした。この研修を終了した子どもたちが、それぞれの学校に帰って、学校生活の中でリーダーとなったり、また、公民館などで実施する他の少年対象事業でのジュニアリーダーとして活動できるような資質の向上をねらったものです。そのため、具体的な目標を①きまりよい団体生活を送ろう、②友達をつくらう、③リーダーとしてメンバーとしてお互いに協力しよう、の三点に絞りました。あま

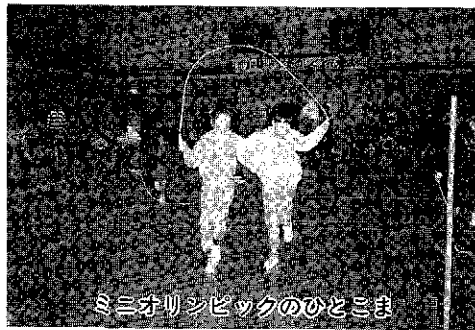


このよび大賞状で賞品を授けらるる

り多くのことをねらっても、散漫になるばかりです。焦点化することが大切です。

2、時期の設定

参加者が参加しやすい時に開催することです。それには、各



まごころのピクニック

学校の行事予定や、他団体の活動予定などを事前によく調べて、早めに日時を決めることです。そして、決まったら関係各方面に早く知らせることも大切です。今回は四月に行いました。

二、指導計画の立案は

綿密に

指導計画というのは、いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どのように、指導するのか、の計画です。(表参照)

構成して立案作成する場合が多いと思いますが、その場合でも公民館職員がインシアチブを持つようにしたいものです。

つぎに指導計画作成上のポイントをしるします。

1、魅力のある内容を

魅力のある内容にするため心がけていることは次の五つです。

①自分も面白くなることを企画する。

自分がやって、面白いから、他の人たちにも楽しく教えられ、人をさそわうことができるわけです。

②教材研究の時間を持つ

できそうで、なかなかできないのが教材研究です。自分で考えたり、今までやってきたものに、ほんの僅かでもいいから工夫を凝らす。また、新しい教材を習得するなど、自分のマンネリを克服するための時間を生み出すことが大切です。

③方法を固定化しない

例えば、ゲームのルールややりかたを変えるなど、「このやりかたはこれしかないのだ」と決めつけないで、「もっと合理的な方法はないのか、もっと軽くて丈夫な材料はないのか」とアイデアを探したり、工夫したりすることです。

④新しい試みを一つは入れる

村上市少年宿泊研修指導計画

- ねらい
市内小学校六年生の有志を募り、宿泊研修により、ジュニアリーダーとして資質の向上を図る。とくに、①きまりよい団体生活を送る ②友達をつくる ③リーダーとしてメンバーとしてお互いに協力しあうことを重点的にねらう。
- 会場 県少年自然の家 (北蒲原郡中条町乙)
- 期日 昭和63年4月9日・10日
- 参加者 120名 (内訳 ○○校○○名 ○○校○○名 ○○校○○名)
- 指導者 社会教育課(兼公民館)6名、市レクリエーション協会3名、小学校教師1名、ボランティア2名 計11名
- 内容

指導内容	活動	場所	担当者	留意点
14.50 入所の集い オリエンテーション	○引率代表者のお話 ○所長さんのお話 ○児童代表のあいさつ ○日程説明 ○自然の家の生活について	体育館	司会代表 引率代表 児童代表	五年参加した児童もいるが、宿生活に慣れない児童もいるので、注意していかねばならない。
15.30 班会議 係会議 チーム会議	○各班ごとの役割を決める ○各係ごとの仕事の確認 ○チームごとの代表者 チーム名を決める	体育館	司会代表 係生活係 係生活係 係生活係	16.10からの中絶時間分口に割り当てられる。
16.10 自由時間		各部屋		
16.50 夕べの集い	○旗の降納と児童代表のあいさつ ○レクリエーション	集いの広場	活動係生活係	大きな声で、明るく話させる。
17.30 夕食	○食前食後のあいさつ ○食器のじょうずな返納 ○テーブルの整理整頓	食堂	生活係	休憩時間中に、ミの採集準備、ラジオ体操の指導練習
19.00 ゲーム	○ミニオリンピック	体育館	活動係他	去年の種目を全面的に変わる。
22.00 就寝	指導者反省会	講師室	全員	明日の反省会、本日の反省
6.00 起床 6.50 朝の集い	○朝のあいさつ ○旗の掲揚 ○引率代表者のお話 ○児童代表のあいさつ ○ラジオ体操	集いの広場	司会代表 引率代表 生活係	
7.10 清掃 朝食	各部屋の点検		全員	
9.00 オリエンテーション	○競技方法の説明 ○スタート ○ゴール	体育館 玄関前	班長 活動係	
12.00 昼食	自由時間			
13.00 グループワークゲーム	○K・V・T (危険予知トレーニング)	体育館	活動係	新規のゲームなどでの指導練習をする。
13.45 表彰式		体育館	略	
14.05 退所の集い	○引率代表者のお話 ○所長のお話 ○児童代表のあいさつ	体育館	司会代表 引率代表 児童代表	自宅へ到着するまでに安全指導する。

続初任者講座 少年研修

計画立案

当市の「少年宿泊研修」のように、数年間継続している事業になると、昨年と同じことを繰り返すようになりがちです。昨年と同じことを行うのは案ですが、一度案なことを経験するとそれに甘えてしまい、新規の内容に取り組むのがおっくうになります。マンネリは大敵です。新しい試み一つはいいれるように心がけたいものです。

今回の研修で、○時期を四月にしたいこと、○グループワークで初めてKYT(危険予知トレーニング)をとりたいこと、

○ミニオリンピックの種目を全面的に変えたこと、などが昨年と違うところです。

⑤準備は早くから私は、忘れ物をよくします。時間がなくて、急ぐからのようです。準備表や、必要品一覧表などを作り、ゆとりを持って臨みましょう。この、ゆとり(時間的にも、精神的にも)があることは他の事業でも大切です。

2、指導者の仕掛け
指導者を依頼することで心がけていることが二つあります。

①新人を必ず一人は加える

ベテランの指導者だけだと効率の高い事業が実施できません。しかし、いつまでも同じ顔ぶれでは、地域への広がりができません。また、マンネリになる恐れもあります。そこで、私は毎回新人指導者一〜二名に来てもらい、新しい血を入れるようにしています。

こうすると、新しい発想につながったり、違った角度からの事業をみたり、自分の仕事に自信がでたりと、良いことが多いです。

②教師の有志に参加してもらう。

子どもたちの中には、公民館職員は事務局ですが指導者でもありません。子どもたちといっしょに活動する時は、思いつき子どもたちの中にとびこむことが大切です。

数年前のことですが、小学校長を退職後、社会教育指導員になられて、この研修事業の指導にあたられた方が、ジャンケンゲームの時に、子どもより大きな声と動作で、子どもたちに負けまいと本気になって取り組んでいた姿をよく覚えています。

年齢に関係なく、子どもたちの活動することが一番大切です。一生懸命頑張る姿を子どもたちは、必ず見ています。

簡単なようで難しいのですが、校長会でお願ひしたり、各学校を訪問してお願いしたりして毎回違った先生に参加してもらっています。

子どもたちも喜びますが、私にとっても、学社連携の一つの手段として今後も続けていくつもりです。ちなみに、今回の指導者は教師一名を含む十一名でした。

三、事後の取り組み

1、反省、評価はその都度事業が済んで、かなりの日数を経てからの反省は、記憶が薄らぐ一方であまり効果的ではありません。翌年になって同じ事業を実施するときになって、よ

おわりに

子どもたちの中にとびこ

実践記録シリーズ

(24)

国際大学の留学生と共に

大和町公民館

近年の国際化社会を背景に社会教育の分野にも、生涯教育としての国際交流や国際理解を目的とした事業の必要が高まってきた。

当大和町の八色原の中央にある「国際大学」は、昭和五十七年度に設立開学し、同五十八年度に学生を受入れ開校し現在に至っている。現在の学生数(大学院生)一八四名で、そのうち



雪上レクリエーション

の四〇パーセントが外国人留学生。当大学の本務は「新しい国際化の時代に対応できる人材の養成」にあり、英語力プラス国際感覚を身につけることをねらった教育であるという。数ある特色の一つに「地元との交流」という学生たちの活動がある。

以下、留学生と大和町民との交流事業を紹介しよう。

英会話教室

国際大学留学生を講師として開かれている英会話教室は本年度で四年目を迎える。対象は高校生以上一般で、特に主婦に人気がある。町内の商店の関係者などは商売上、留学生への対応として学習に参加される方もいる。しかし、当英会話教室のねらいは、より多くの町民が英会話の学習をおして留学生の皆さんとの交流を深めることにあり、昨年度は教室終了時において、ささやかな打上げパ-

ティを開催し、持ち寄りの手づくり料理で歓談した。留学生の祖国の唄で披露あり、ディスコありとお互いの心を通い合わせた。なごやかなひとときであった。そして、その後自主的なグループへと発展し、いろいろな国の留学生との交流を深めている。

雪上レクリエーション 交歓会

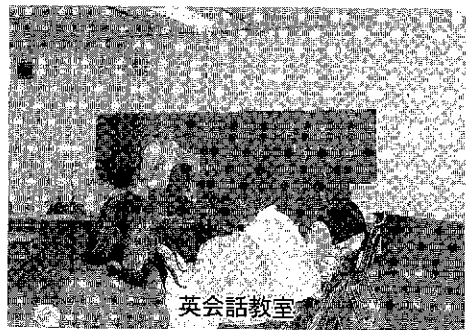
冬季間雪に閉ざれるわが町にとっては「雪との対話」は欠かせない。いわゆる克雪、利雪への取り組みであるが、ここにも外国人留学生と地元成人との交流がある。

東南アジアからの留学生はまず雪の多いことに驚く。冬の一日、町営スキー場にて午前はスキー、午後は餅つきなどのレクリエーションゲームをおこなう。この事業は国際大学の学生自治会からも全面的に協力していただき参加者は百名を越えた。地元町民とのふれあいと、スキー、餅つきなど、当町での

楽しい思い出をつくって頂く趣向で雪晴の一日を楽しんだ。

町内一周国際リレー マラソン大会

町内一周約二十二キロを七区間に分け、留学生チームと地元青年チームの約三十チームが競う。本年度で六回目を数えるが二・三年前より外国人留学生の参加が目立ち、国際色豊かな大会となった。そしてただ単に競うばかりでなく、留学生チームの中には、ちゃめっ気たっぷりに衣裳を凝らし、沿道で応援する町民に目いっぱいアピールし、町民からも又大きな歓声が湧きあがる。そこに留学生と町民との「不断着」の交流を見ることが出来る。そして、現在ではもう、子どもから年寄りまで



英会話教室

外国人に対して特異な目でみるような光景はほとんど見当たらなくなった。

ジュニア国際交歓会

この事業は本年度の新しい企画として、成人ばかりでなく「次代を担う子どもたち」の国際理解を深める「テーマ」でこの六月よりスタートする。内容は小学生を対象として留学生より小学校に訪問してもらい、祖国のお話や外国の子どもたちの様子などを紹介してもらい、児童との交歓を進めるものである。

対象の児童も、そしてお話をする留学生も年ごとにメンバーが変わるため事業の成果が現れてくるまでにはかなりの継続を要すると思う。でも、このような事業をおして子どもたちが外国人とのひとときの交流の体験が高校・大学そして社会人になったとき必ずや国際交流・国際理解への重要性を思い起してくれるのではないだろうか。

以上、大和町の国際交流事業は「国際大学のある町」のメリットを最大限に生かして、身近な日常生活の中に極めて自然に町民との交流が深まるよう進めている。

(大和町公民館

係長 井口光雄記)

体験記 女たちの戦争 刊行

べんきようするお母さんのひろば

津南町公民館

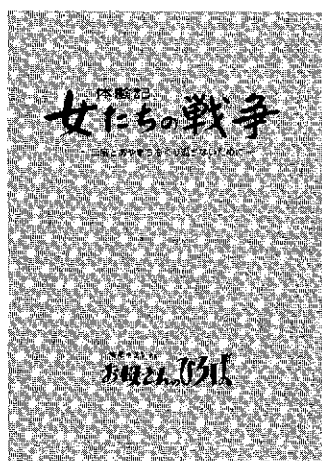
津南町公民館に「べんきようするお母さんのひろば」という主婦の学習グループがある。(昨年の本紙十月号六面に「学習情報誌づくり」を紹介済み)

その学習グループがこのほど「女たちの戦争」という体験記を刊行した。編集委員代表の小酒井静子さんは、巻頭で「あの悲惨な戦争を体験した人たちが、その実状を書き残してからも、二度とあやまちをくりかえさないことを願い、この仕事に取り組み三年たちました」と述べている。残酷、悲惨な戦争の体験が年と共に風化し、忘れ去られてしまうことを恐れ

て、今、書き残しておかなければ、という編集員たちの五、六年前からの願がようやく実ったもの。

本書の構成は、耐えしのんだ暮し、その時子どもたちは、外地から生還して、の三部からなっている。どこのページをひもといても、女のみても、女の苦しみや悲しみが素朴な飾り気のない率直な文章で綴られている。そのことが一層読む者の心を強くうつ。

情報 広場



二十七名の編集委員が、一人三名の方から原稿をいただくことを原則として、手分けをして百十名の手記が集められたものの由。枚数を制限したために書き足りなかつた人もいた。高齢で鉛筆を握れない人からは聞き書き

をしたともいう。編集委員の汗と苦斗の三年間で本書を作りあげたものである。編集後記に「二度と、あの思いをくり返さないために、これは涙の中から立ち上がった、人間をとりもどすための平和へのたたかいです。」

女たちの宣戦布告なのです」と記されていて、津南町の「べんきようするお母さん」グループの心が伝わってくる。

なお、巻末には、十五年戦争時代年表・兵隊の階級・戦争中、特に使われた言葉の意味・編集日誌

の資料が掲載されており、心憎いばかりの気配りがなされている。とりわけ、「編集日誌」は、昭和61年6月25日に始まり、63年5月24日までの、編集委員の活動が克明に記されているので、この種の冊子を編集・発行する計画のある公民館には、その手順の参考とならう。

A五判 三〇一頁 昭和六十二年六月五日刊 頒価(二〇〇円) 購入希望のむきは、左記へ問い合わせせられたい。

中魚沼郡津南町陣馬下 津南町公民館 電話〇二五七一

六五―三三三四

長岡市中央公民館主事

田中 仁氏 (24歳)

見かけは、落ち着いていて、何年か経験を積んだように思うが、まだ、社会人二年生。昨年、大卒の市職員として、採用になったばかり。ようやく職場の雰囲気慣れ、先輩方を見様見まねでがんばっている。

結構おつちよこちよい。二月に、ガラス戸に挑んだという経歴を持つ。一張羅のズボン を破きケガの方はたいした事がなかった



素顔 拝見

がだいぶ、まわりを慌てさせた。だが、本人はケロリ。 昨年は、社会人一年目ということもあり、大変だったと思う。失敗を経験し、たまには納得のいかない事だつてあつたかも知れない。けれど、これからは本番である。失敗は、より良い仕事をするための糧とし、少しぐらゐの困難は、突破しなければならぬと言いたいところだ。 今年、初心を忘れず、全体の動きが見渡せるような目を養ってもらいたい。ガンバレノ

長岡市社会教育指導員 金山 茂記

栃尾市公民館主事

菲沢 洋子さん (39歳)

今年の四月に公民館へ配置換えになられたばかりの人。これまでは総務課の文書広報の事務に従事していられたとか。

「公民館へ来ての感想は?とたずねると、

「何しろ、今までは「モノ言わぬ相手」(タイプライター)とばかり直面していたのに、こんどは、人間が相手なので面くらうこと、とまどうことばかりです。」とおっしゃる。

インタビューをしたのが五月初めだったから無理もない。

担当事務は、



庶務・経理とともに「子育て教育」の事業にも取り組む由。「いま開設の準備中なんです、時間ばかり早く過ぎて……」と不安の顔をのぞかせていた。

家庭では小学校六年の一児の母。この事業は、うつつけのように思われた。

あれから二か月が過ぎた今日このごろ、仕事のつぼを心得て飛びまわっていられることである。(上村記)

県 事 業 紹 介

県 単 新 規 事 業

生 涯 学 習 基 盤 整 備 事 業

臨時教育審議会答申に見られるように、今次教舞育改革の基本理念である生涯学習体系への移行に向けて、県では、今年度、県単新規事業として「生涯学習基盤整備助成事業」を実施している。これは、地域住民の学習活動を促進するために、市町村が行う次の事業に対して助成するものである。

- 1、生涯学習モデル市町村事業 (国補間接補助)
 - ア 生涯学習まちづくり推進本部 (必須)
 - イ 生涯学習のまちづくり推進事業 (一つ以上選択)

- (ウ) 学社連携事業 (学習情報提供・学習相談事業 (ウ) ボランティア活動推進事業 (ウ) 学習サークル育成事業 (ウ) 学習プログラム開発事業 (ウ) 勤労者の学習機会拡充事業 (ウ) 生涯学習住民大会 (ウ) 社会参加活動促進事業 (ウ) 施設のネットワークづくり

※実施市町村 (新井市、能生町、

- 2、家庭・学校・地域連携促進事業
 - ア、家庭・学校・地域連携協力会議 (必須)
 - イ、連携事業 (一つ以上選択)
 - (ウ) PTA・諸団体相互の連携事業 (ウ) 世代間交流事業・地域交流事業 (ウ) 学校の特別活動

- 浦川原村、三条市、川口町、水原町)
- 湯之谷村、広神村、入広瀬村、大和町、中里村、高柳町、松代町、板倉町、三和村、真野町、小木町、赤泊村)
- 3、国際交流活動促進事業
 - ア、国際交流促進会議 (必須)
 - イ、国際化促進事業 (一つ以上選択)

等への地域住民参加事業 (ウ) 学習・ボランティア活動への参加事業

- ※実施市町村 (柏崎市、十日町市、糸魚川市、黒川村、味方村、田上町、下田村、鹿瀬町、上川村、三川村、山古志村、小出町、湯之谷村、広神村、入広瀬村、大和町、中里村、高柳町、松代町、板倉町、三和村、真野町、小木町、赤泊村)

- 4、青少年地域活動推進事業
 - ア、推進会議 (必須)
 - イ、推進事業 (一つ以上選択)
 - (ウ) リーダー養成事業 (ウ) 青少年団体育成指導員設置事業 (ウ) 青少年団体連絡協議会設置

(ウ) 国際理解教育事業 (ウ) 国際交流活動事業 (ウ) 外国語学級・講座 (ウ) 国際理解啓発事業

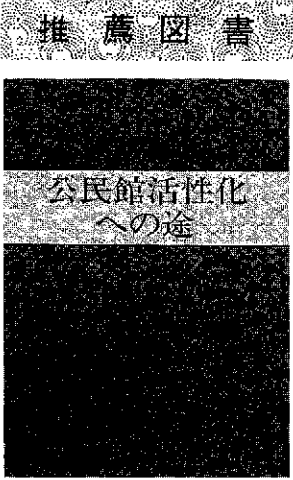
- ※実施市町村 (新潟市、柏崎市、十日町市、中条町、小出町、大和町、安塚町、青海町)

- ※実施市町村 (十日町市、村上市、糸魚川市、水原町、松村町、弥彦村、津川町、川口町、中里町、新穂村)

公 民 館 活 性 化 へ の 途

生涯学習時代に対応する 公民館をめざして

編著者 岡本 包治
元木 健
坂本 登
日常出版



地域社会教育の核となる学習需要の把握に的施設として自他とも焦点をあて、第三章でに許してきた公民館には、公民館の活性化について、近年地盤沈下観点と方法について述がささやかかれ、そのあべ、活性化への具体的な提言をしている。第四章では、本書のまとめとして、活性化へ向服し、その活性化を図けることを意図して、いくつもの新たな視点から論述された、今日の要球に求めている。まさに、生涯学習時代に対応する公民館をめざしての必読の書である。

第一章では、多様な教育機関と機会を視野に入れ、それぞれの教育機能を明らかにしている。第二章では、公民館の基本的姿勢に関する

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (025) 224-6073】

発行人 会長 木下 清一
編集人 事務局長 上村 捨二郎
【定価1部 120円 年共 1,440円】

村、浦川原村、大島村、三和村、関川村、佐和田町、小木町)

5、生涯学習メディア利用促進事業

- ア、利用推進会議 (必須)
- イ、利用推進事業 (一つ以上選択)
- (ウ) メディア利用学習・講座、(イ)、メディア利用研修事業 (ウ) メディア利用学習プログラムの作成 (ウ) ニューメディア利用による学習情報提供システムの研究開発

※実施市町村 (柏崎市、燕市、安田町、村松町、守門村、小国町、刈羽町村、吉川町、佐和田町、新穂村)

県の生涯教育推進会議では「関係行政機関の連携・協力のあり方」を審議主題とすることにしていく。

あとがき
署中御見舞申し上げます。